内閣総理大臣杯争奪 第42回日本車椅子パスケットボール選手権大会 個人トータル表

2014年5月18日 13時00分開始 **3 位決定戦** 東京体育館 M - 7

埼玉ライオンズ 42 (関 東) 10 1/1/4-9- 7 10 2/1/4-9- 19 10 3/1/4-9- 18 12 4/1/4-9- 19 ⑥ NO EXCUSE (東 京)

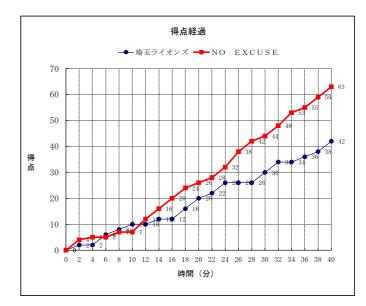
(果

番号	氏 名 (持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番	: 异	氏:	名 (持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
4	斎藤 智之(1)	-	-		_	_	_			4		[樹 (4)	8	0	4	0	-	_	2
5	大本 将貴 (4)	_	_	_	_	-	_	_	*	5	佐藤	大輔 (2)	11	0	5	1	-	-	2
7	原田 翔平(1)	-	-	-	-	-	_	_		6	石井	康二 (2.5)	-	-	-	-	-	-	_
8	蔵持 弘 (1)	-	-	-	-	-	-	-		7	寺田	正晴 (3)	0	0	0	0	-	-	2
9	赤石 竜我 (2.5)	-	-	-	-	-	-	-		8	大嶋	義昭 (1)	-	-	_	-	-	-	-
10	森田 俊光 (2)	0	0	0	0	-	-	0		9	大曽根	佳太 (4.5)	0	0	0	0	-	-	0
* 11	藤澤 潔 (2)	8	0	4	0	-	-	2		10	菊池	隆朗 (1)	-	-	-	-	-	-	_
* 13	篠田 匡世 (3.5)	6	0	3	0	ı	-	3	*	11	森 紅	之(1.5)	4	0	2	0	-	1	1
14	駒崎 和孝(1)	-	-	-	-	-	-	1	*	12	菅澤	隆雄 (4.5)	30	0	14	2	-	-	1
15	青木 大 (1)	2	0	1	0	1	-	1	*	13	湯浅	剛 (1.5)	0	0	0	0	-	1	0
* 17	大館 秀雄(4)	8	0	3	2	1	-	4		14	田仲	幸生 (1.5)	ı	-	-	1	-	1	1
* 18	永田 裕幸 (2)	8	0	4	0	-	-	2		15	田中	聖一 (2)	10	0	4	2	-	-	1
19	三元 大輔 (3.5)	-	-	-	-	-	_	-		16	村上	慶太 (1)	0	0	0	0	-	-	0
* 20	宮澤 厚史 (2)	2	0	1	0	-	_	2		18	西岡	尚輝 (1)	-	-	-	-	-	-	-
21	佐藤 渉 (4.5)	8	0	4	0	-	-	2		19	八木沼	层弥 (3)	0	0	0	0	-	-	0
ΗС	水本 栄喜								Н	С	及川	晋平							
ΑC	信太 奈美								Α	С.	中井	健豪							
マネージャー	永盛 雅子								マネー	ジャー	杉山	美穂							
マネージャー	三木 ゆかり								マネー	ジャー	相川	恵里							
マネージャー	川浪 健志								マネー	ジャー	永山	彩夢							
トレーナー	宮澤 穂								ŀν-	ーナー	山下	正信							
	合 計	42	0	20	2	0	0	16			合	計	63	0	29	5	0	0	9

 主審:
 増竹
 昇

 副審:
 平田
 貴浩

 副審:
 和田
 正人



〔戦評〕

第10

ジャンブボールは埼玉ボール。NoEX4番安のシュートからスタート。埼玉は18番永田が入れ返す。すぐさまNoEX4番安のカットインからのアシストによりNoEX11番森のミドルシュートが決まる。その後、両チーム点数が入らず、膠着状態。ロースコアのまま10-7で第1Q終了。

第20

NoEXが連続シュートで逆転。埼玉13番篠田のファールトラブルにより埼玉21番佐藤と交代。そのスキを付き、NoEX12番菅澤とNoEX21番佐藤がシュートを決める。その後もNoEXは連続してオフェンスリバウンドをもぎ取り点に結びつけ、埼玉たまらずタイムアウト。

NoEXは着実に点数を重ね10点差をつけるが、埼玉はプレスディフェンスをかけ、それが功を奏し、NoEXのターンオーバーを誘い、4点差まで詰め寄る。

しかし、 $N \circ E X 1 5$ 番田中がブザービーターを決め $2 0 - 26 N \circ E X$ リードで前半終了。

第30

NoEX5番佐藤のシュートで始まる。埼玉も追いつきたいところだが埼玉13番篠田4つ目のファールにより交代。NoEX4番安を中心に点数を重ね、埼玉はパスミスが多く点数に結びつかない。

NoEX12番菅澤の連続得点で埼玉たまらずタイムアウト。

埼玉は苦しいオフェンスからなかなか得点が伸びず、NoEX4番安、12番菅澤が着実に点数を重ね点差を開く。

残り 2分、N o E X はメンバーを入れ替え、プレスディフェンスをしかけ、N o E X 1 5 番田中のフリースローが 2 本決まり 3 0 - 4 4 で第 3 Q終了。

第40

NoEX4番安の連続パスミスから埼玉はオフェンスチャンスを得るが、得点に結びつかず、NoEX5番佐藤が確実にシュートを決め点差を開いていく。

埼玉も11番藤澤と18番永田がシュートを決めるが点差は縮まらない。

NoEXは終始、12番菅澤が冴え渡った連続ゴールを決め、観客の視線を釘付けにした。

最後まで点差は縮まらず、42-63でNoEXの勝利